

令和3年度事業報告書

(令和3年1月1日から令和3年12月31日まで)

特定非営利活動法人 未来守りネットワーク

1 事業の成果

本年度については、新型コロナウイルス感染症の影響によって例年通りの会議参加・イベント開催とはならなかったが、活動が制限される中でもアマモの増殖活動などの中海の水質浄化活動やアカヒレタビラの保護活動を事業の中心として活動した。また、海藻肥料による中山間地域の活性化を図る取り組みも継続して行った。

- ・アマモの種子の採取活動を6月、移植活動を11月に境港市にて開催した。
- ・アカヒレタビラ等水辺の希少生物の保護活動は年間を通して行った。
- ・中海の水質浄化活動では、海藻類を除去し加工して肥料として活用する取り組みを継続。海藻から作られた海藻肥料を使用した日野町産「海藻米」（地元向けは「鳥取海藻米」）は、今年度も境港市の学校給食に引き続き使用され、今後も継続の予定である。
- ・宍道湖内で繁殖した水草類を除去し、中海で採取した海藻と混ぜて肥料として利活用していく取り組みも例年通り行った。

別添資料参照

2 事業の実施に関する事業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円) ※
環境再生・保全活動支援事業（アカヒレタビラ調査）	アカヒレタビラ保護「鳥取県河川調査」国の各省庁・鳥取県・各改良区・漁協未来守りチャイルドクラブ	1月6日～ 12月末日	鳥取県内（米子市法勝寺川・小松谷川他）	50名	20名	698
環境再生・保全活動支援事業（アマモ事業）	鳥取県境港市のアマモ設置場の海底調査	5月19日～ 11月20日	境港市（清水・外江・中浜地区）海底調査	50名	2名	50
	アマモ種子採取・アマモシート作成・アマモシート敷設事業	6月19日～ 11月6日	鳥取県境港市 1カ所に2枚敷設	40名	10名	112

環境再生・保全活動支援事業（海藻米研究）	中海産海藻肥料を使用した海藻米の研究・販売促進	1月6日～ 12月末日	鳥取県日南町・日野町・伯耆町・鳥取市・米子市・境港市・倉吉市・安来市	50名	10名	920
環境再生・保全活動支援事業（海藻事業）	中海の海藻を利用した海藻肥料の普及と販売促進	1月6日～ 12月末日	鳥取県日南町・日野町・伯耆町・鳥取市・米子市・境港市・倉吉市・安来市	60名	30名	253
環境再生・保全活動支援事業（宍道湖沈没植物等刈取り事業）	宍道湖・剣先川の水草類の調査・刈取り 国の各省庁、各漁協	5月15日～ 10月29日	出雲市・境港市	100名	100名	3597

(2) その他の事業

なし 以上。

NPO法人未来守りネットワーク令和3年度 事業報告書



鳥取県損害保険代理業協会寄付金の贈呈式(令和3年3月2日)

鳥取県損害保険代理業協会様が当団体の事務所に来社され、ご寄付をいただきました。この募金は、当協会の会員の皆様に行っていただいた募金活動によるもので、今年で5年目のご寄付となります。当団体の活動にご理解と、ご協力いただいたご厚意に心より感謝申し上げます。皆様からお寄せいただいたご厚意は、当団体の事業発展に活用させていただきます。



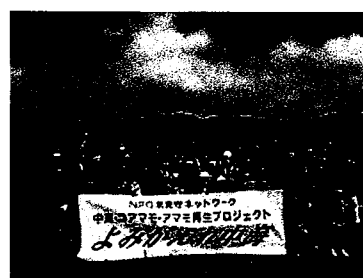
「河川における魚介類保護護岸の提案と溜池ならびに河川のヘドロ再生利用について」の意見交換会を開催(令和3年5月21日)



境港市 元気亭横の海農駅にて、「河川における魚介類保護護岸の提案と溜池ならびに河川のヘドロ再生利用について」と題した意見交換会を開催しました。奥森理事長から、自然や環境に調和する擁壁工“ブランテブロック工法”についてや人間だけでなく生態系にまで影響を及ぼしてしまう“マイクロプラスチック問題”などの説明をさせていただき、現状と今後の課題についてご出席いただいた企業の皆さんと話し合いました。

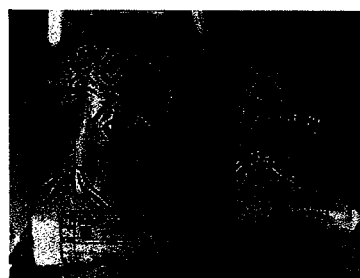
第1回アマモ種子採取イベント(令和3年6月19日)

境港市外江港にて第17回目となるアマモ種子採取イベントを開催しました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて開催出来なかったこのイベントですが、今年は無事に開催することができました。これまでは海に流されたり、エイに食べられてしまったりとアマモ種子を採取することがなかなか出来ませんが、今年とはとてもたくさんのおアマモ種子が実っており、無事に収穫することが出来ました。



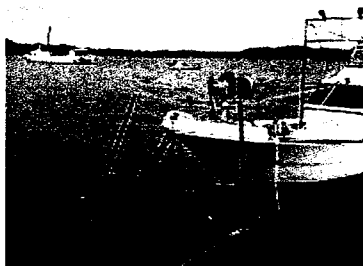
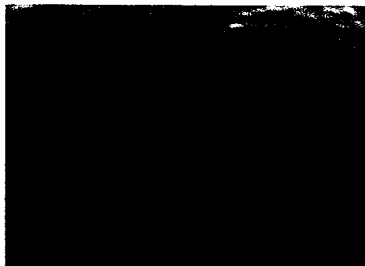
兵庫大学 松本教授の講義にて講演(令和年7月15日)

兵庫大学現代ビジネス学部 松本茂樹教授の講義内で、奥森理事長がリモート講演をしました。講演では、中海干拓事業とは何か、水門が撤去され海藻類が異常繁殖(水質悪化)したこと、水質悪化してしまった中海を豊かな姿によみがえらせたいとの思いから未来守りネットワークを発足したことや現在の活動について学生の皆さんの前で説明いたしました。中海の海藻を使った肥料「海藻肥料」と、その肥料を使って育てた「海藻米」についてもお話させていただき、松本教授や学生のみなさんにも是非味わっていただきたいという思いから、『海藻米(ひな)』を贈呈させていただきました。



宍道湖の水草刈り沈水植物等刈取り(令和3年7月15日～10月2日)

今年度も国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所から委託を受けて、宍道湖の水草を刈り取りました。この事業は、宍道湖内で伸びすぎてしまい、船舶航路の障害となる水草を刈り取って、安全を確保すると共に水質悪化を予防することを目的としています。回収した水草は乾燥させ、中海で同じように繁殖しすぎて回収された海藻と混合して有機肥料へ加工します。



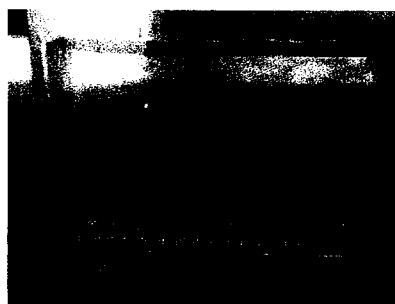
第17回アマモ移植イベント(令和3年11月6日)

境港市の鳥取県漁協境港支所で第7回目となるアマモ移植イベントを開催しました。今年は2枚のシートを作成し、参加した子ども達はヤシマットや不織布など自然に還る素材で作ったアマモシートヘデンプン糊にアマモの種を混ぜたものを素手で塗り広げてくださいました。



河川の絶滅危惧種類の生物調査(通年)

令和3年度も年間を通しアカヒレタビラ等絶滅危惧種類やその繁殖に欠かせないドブ貝等の調査と保護活動を行いました。河川の生物調査には奥森理事長も立ち会い、絶滅危惧種類等の水生生物について生息状況を確認しました。なお、調査活動の詳細については、生息域である河川が特定され生物を危険にさらす可能性があるため差し控えさせていただきます。



その他：自然や生物の保護活動を推進する協議会・検討会への出席

法勝寺川や斐伊川水系、鳥取県の生物多様性についての取り組みなど、自然や生物保護への会議に出席し、他団体や行政・企業の取り組みの成果や問題点を知り、お互いにより良い活動が出来るよう年間を通して協議を重ねています。※本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年出席している会議がすべて中止となりました。打合せ等は、必要に応じて電話やメール、WEB会議システムなどを活用しました。

法人名： 特定非営利活動法人 未来守りネットワーク

財産目録

2021年 12月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	893,353		
普通預金	1,101,159		
宍道湖外沈水植物等刈取り事業用預金			
普通預金	674		
売掛金			
(株)シモト	143,000		
仮払金			
海藻農法普及協議会	278,320		
流動資産合計		2,416,506	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,416,506
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金		0	
未払金			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			2,416,506

法人名： 特定非営利活動法人 未来守りネットワーク

貸借対照表

2021年 12月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,994,512		
宍道湖外沈水植物等刈取り事業用預金	674		
売掛金	143,000		
仮払金	278,320		
流動資産合計		2,416,506	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,416,506
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0		
未払金			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,416,015	
当期正味財産増減額		491	
正味財産合計			2,416,506
負債及び正味財産合計			2,416,506

法人名： 特定非営利活動法人 未来守りネットワーク

活動計算書

2021年 1月 1日 ～ 2021年 12月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	880,000	
賛助会員受取会費	12,000	892,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	51,481	51,481
3. 事業収益		
A. 宍道湖外沈水植物等刈取り事業収益	3,597,000	
B. アマモ事業収益	0	
C. アカヒレタビラ事業収益	2,593,830	
D. 海藻事業収益	52,280	6,243,110
5. その他収益		
受取賃貸料	0	
雑収益	890,463	890,463
経常収益計		8,077,054
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 広報啓発活動		
環境PR事業費	0	
広報啓発活動費計	0	
(2) 環境再生・保全活動支援事業費		
A. アカヒレタビラ調査費	698,841	
B. アマモ事業費	162,594	
C. 海藻米研究費	920,530	
D. 海藻事業費	253,880	
E. 宍道湖外沈水植物等刈取り事業費	3,597,000	
環境再生・保全活動支援事業費計	5,632,845	5,632,845
事業費計		5,632,845
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	751,275	
法定福利費	6,669	
人件費計	757,944	
(2) その他経費		
会員会費	36,000	
支払手数料	9,553	
通信費	216,431	
接待交際費	468,530	
消耗品費	23,897	
地代家賃	480,000	
事務用消耗品費	81,165	
租税公課	0	
雑費	370,198	
その他経費計	1,685,774	
管理費計		2,443,718
経常費用計		8,076,563
当期正味財産増減額		491
前期繰越正味財産額		2,416,015
次期繰越正味財産額		2,416,506

前事業年度の年間役員名簿

特定非営利活動法人 未来守りネットワーク

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	奥森 隆夫		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
副理事	内田 幸男		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
理事	北國 恵久		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
理事	森岡 俊夫		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
理事	福田 一哉		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
理事	浜田 一哉		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
理事	松浦 光喜		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
理事	杉山 孝志		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
監事	川口 利之		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無
監事	足立 徹		令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	無

社員のうち 10 人以上の者の名簿

特定非営利活動法人 未来守りネットワーク

氏名	住所又は居所
奥森 隆夫	
内田 幸男	
北國 恵久	
森岡 俊夫	
福田 一哉	
浜田 一哉	
松浦 光善	
杉山 孝志	
川口 利之	
足立 徹	